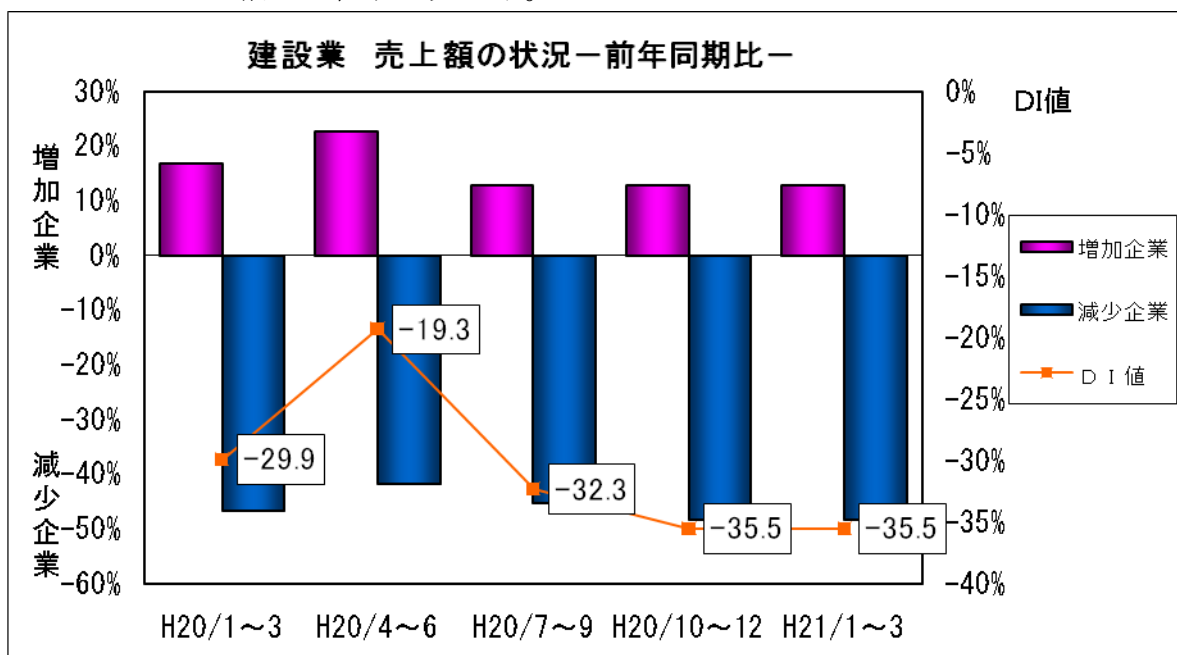




(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

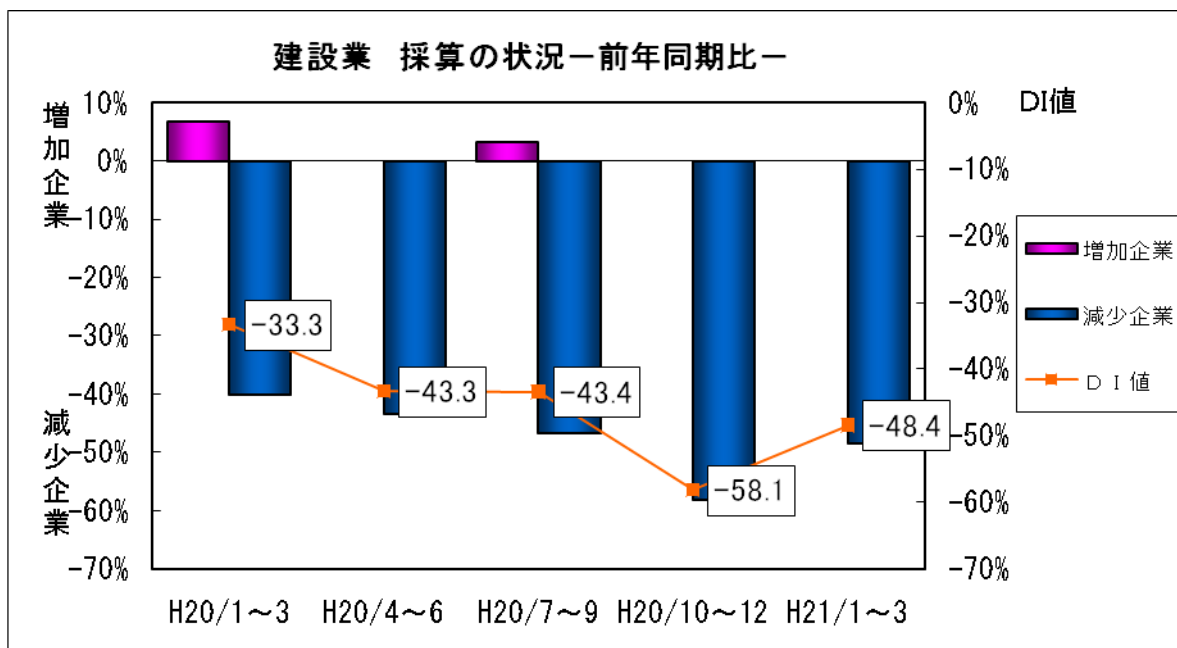
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額DI値は、マイナス 35.5。前期のマイナス 35.5 から横ばい。来期はマイナス 51.6 と大幅に悪化する見込み。



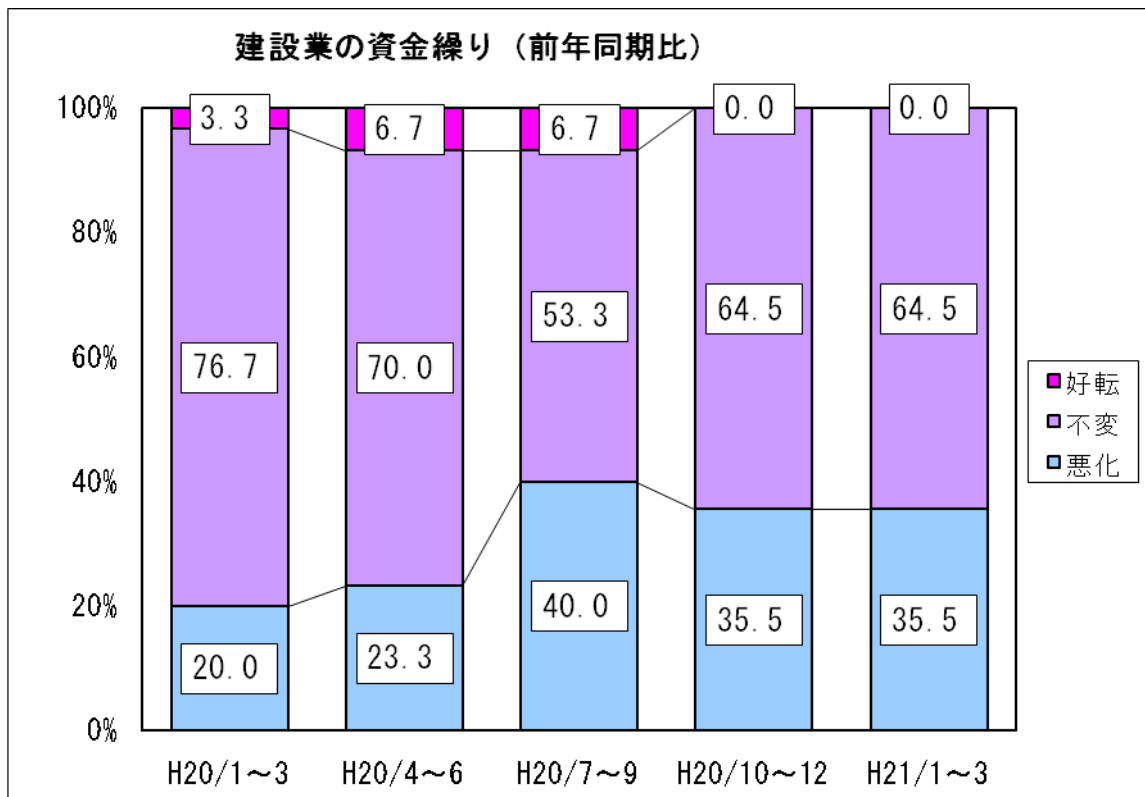
②採算 (前年同期比)

今期の採算DI値は、マイナス 48.4。前期のマイナス 58.1 から 9.7 ポイント上昇、回復。来期見通しはマイナス 54.8 と再び悪化する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス35.5。前期のマイナス35.5から横ばい。来期見通しもマイナス35.5と3期連続の横ばいの見込み。

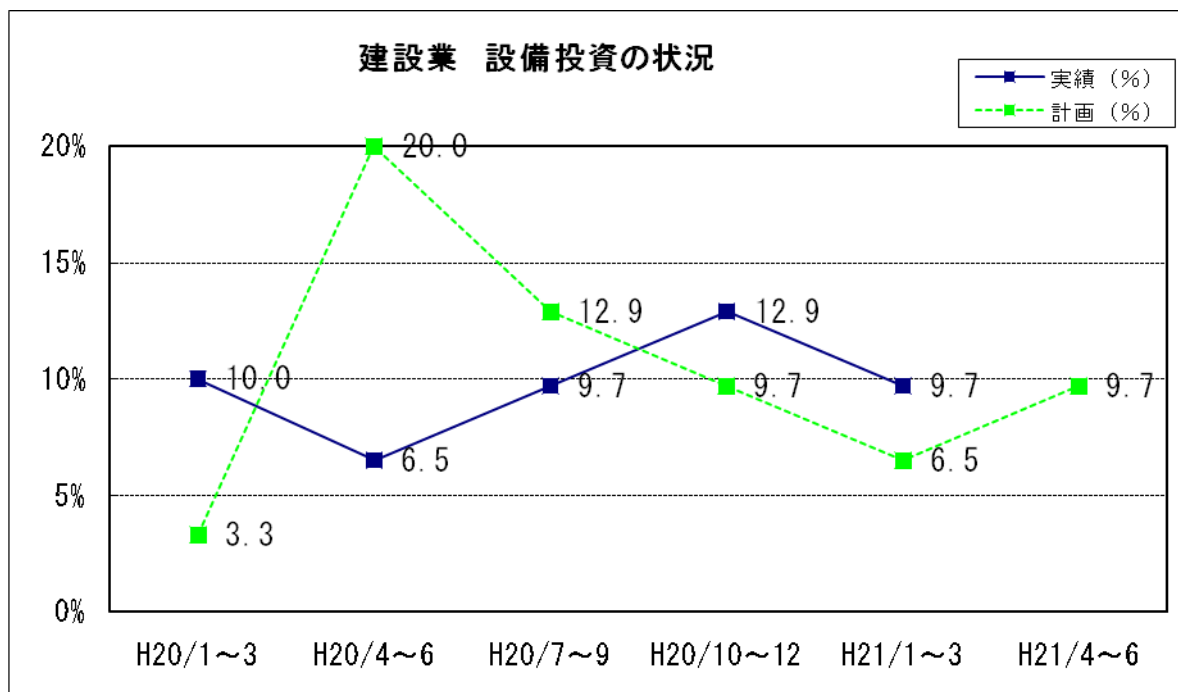


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数) (%)	4 12.9	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	27 87.1
今期実施 (実数) (%)	3 9.7	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	28 90.3
来期計画 (実数) (%)	3 9.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	28 90.3

今期設備投資を実施した企業は3社（9.7%）。前期（平成20年10～12期）の実施企業4社（12.9%）から1社減少。来期も3社（9.7%）が、建物、建設機械、OA機器、への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・「民間需要の停滞」 (前期 52%→今期 57%)
- ・「材料価格の上昇」 (前期 48%→今期 40%)
- ・「請負単価の低下、上昇難」 (前期 31%→今期 37%)
- ・「官公需要の停滞」 (前期 38%→今期 33%)

となっている。

